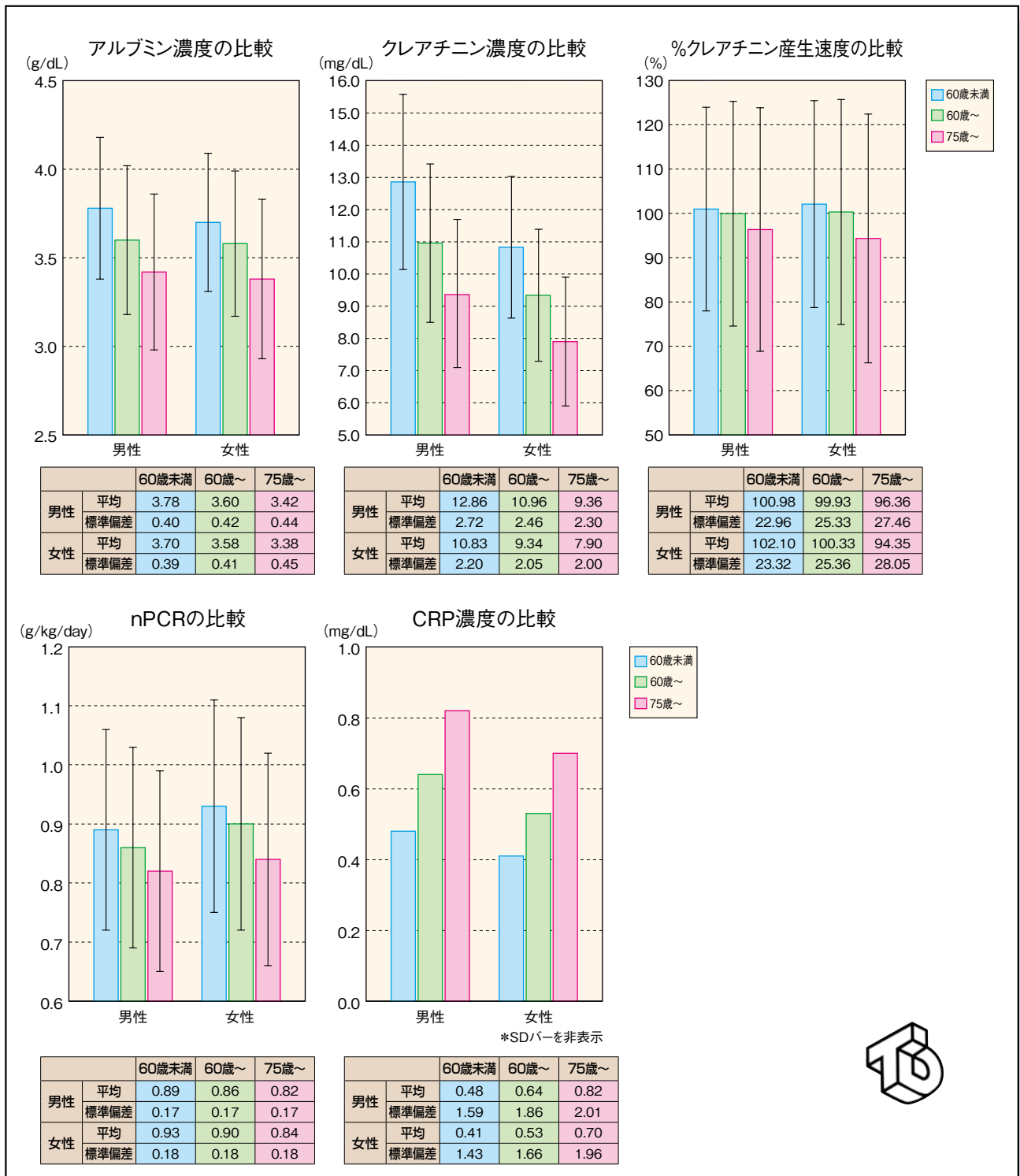


4) 高齢者の透析

(3) 高齢透析患者の栄養および炎症 (図表49)



集計対象：透析患者全体

クレアチニン濃度、%クレアチニン産生速度、nPCRの集計に関しては週3回透析、透析歴2年以上

解説

高齢透析患者の栄養と炎症の指標の比較を示す。血清アルブミン濃度、クレアチニン濃度、%クレアチニン産生速度、nPCRは、いずれも加齢とともに低下し、高齢透析患者で最も低かった。このうち、アルブミン濃度、%クレアチニン産生速度は男女間に差を認めなかったが、クレアチニンでは男性が高く、nPCRは女性が高い傾向を示した。

一方、CRP濃度は加齢とともに高くなり、75歳以上で最も高かった。加齢とともに炎症が関与して栄養状態が低下していくことが示唆された。